

第4次 泉大津市総合計画

住めば誰もが輝くまち泉大津
～なんでも近いでええとこやで～

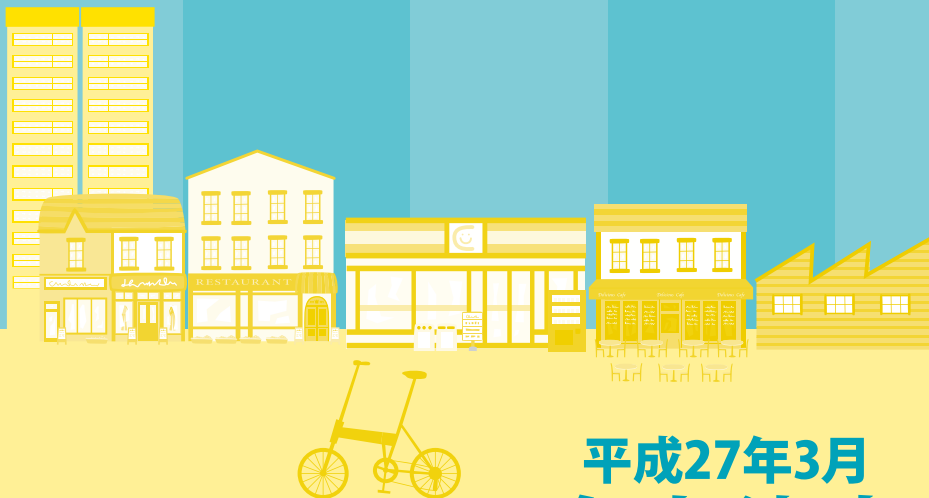
安全・安心



コンパクト



活力・共創



平成27年3月
泉大津市





第4次泉大津市総合計画概要版の発刊によせて

「住めば誰もが輝くまち 泉大津 ～なんでも近いで ええとこやで～」をめざして

昭和28年、私は泉大津市で生を受け、この地で育ち、学び、働き、現在に至っています。それから半世紀余り、私の子どもの頃と大きく様変わりした現在の泉大津は、全国の市町村と同様に人口減少傾向のもと、以前と比べると地域の間人関係の希薄化も否めません。しかし、交通利便性の良さ、自然災害の少なさ、そして何より地域の人々がお互いを気遣い思いやる気持ちと、泉大津への深い愛情など、素晴らしい要素があふれています。

このたび、市民の直接的な参画を方針とした第4次泉大津市総合計画を策定し、市民の皆さまからご提案いただいた言葉をもとに、10年後の泉大津市の将来像を「住めば誰もが輝くまち 泉大津 ～なんでも近いで ええとこやで～」と定めたところです。

これをめざし、本年は新たなスタートを切る年です。市民、団体、事業者、行政など、あらゆる関係者が手を取り合い、まちづくりを進めていくために、私自身も出来ることを精一杯取り組んでまいります。どうか皆さまも、一人ひとり、ご自分に何が出来るか、考え、話し合い、行動していただきたいと切に願うところです。

最後に、策定にあたり、多くの関係者の皆さまから、ご指導、ご協力をいただきました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます、発刊によせてのご挨拶とさせていただきます。

泉大津市長 伊藤 晴彦

総合計画とは

みなさんが、将来に夢を持ち、その実現に向けていろいろな計画を立てるのと同じように、「泉大津のまちが、将来こんなふうになっていたらいいなあ、という姿と、その実現に向けて取り組むことをまとめた計画」で、基本構想と基本計画で構成します。

こんなまちになって欲しい!

実現に向けて取り組もう!

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
基本構想	新たな基本構想(10年間)									
基本計画	基本計画(10年間)					後期基本計画(5年間)				

社会情勢等の変化を踏まえ見直し

総合計画の策定の特長

市民との協働により策定!

市民参加

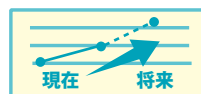


市民 団体・事業者 行政

直接的な市民参加である市民会議を中心に、幅広く意見をいただき、計画を策定しました。

目標と成果を見える化!

成果指標



基本計画の基本施策ごとに、めざす姿を設定し、その到達度を推し量る指標として成果指標を設定しました。

個別計画との整合を図る!

整合性



各施策を計画的に推進するため、総合計画に即して、その他の個別計画を策定、施策を展開することで、その整合を図ります。

基本構想

まちづくりの基本理念と将来像

基本構想は、泉大津市が目標とすべきまちの将来像と、その実現に向けた基本的な考え方などを示しています。

また、策定にあたっては、中学生会議や大学生会議、市民会議から本市がめざすまちづくりについて提言を受けました。この提言をもとに、まちの将来像とまちづくりを進める上で大切にしたい3つの基本理念を設定します。

3つの基本理念

「安全・安心」の視点



泉大津がええとこであるために、市民の生活や活動を支える基盤として、市民が安全に安心して健やかに暮らし、活動することのできる環境の確立を基本とします。

「コンパクト」の視点



平坦で小さな市域であるがゆえに市民や団体・事業者、行政の間の距離が近いことや、関西国際空港や港湾、大阪都心部との距離が近いことは、本市の個性であり特長です。なんでも近いことが生み出すコンパクトさは、本市のかけがえのない資質であり、市域を越えて躍進する力を備えています。将来にわたって、これを活かすとともに、さらに磨きをかけ、発展させるまちづくりを基本とします。

「活力・共創」の視点



誰もが輝くまちとして、市民が主体となったまちのにぎわいづくりや、企業や大学、近隣自治体と連携した、地域や産業活性化に向けた取組を進めます。また、市の特性や利点をさらに伸ばし、これらを広く情報発信するなど、市民と行政がともに手をとりあい、高め合うことで、新しい価値を創造し、活力あるまちを共に創り上げることを基本とします。

まちの将来像

住めば誰もが輝くまち 泉大津 ～なんでも近いで ええとこやで～

3つの基本理念を踏まえ、市民一人ひとりが、自分たちの住むまちに誇りをもち、快適で機能性の高い都市環境の中で、安全に安心して健やかに暮らしていくことのできるまちをめざし、まちの将来像を設定します。

4つのまちづくりの方向性

きょうどうによる
コミュニティづくり

自分たちで育て、
自分たちも育てられるまち

世代をこえて
手を取り合うまち

今あるものを活かし誰もが
惹きこまれるひらかれたまち

まちの将来像の実現に向けた取組を、4つのまちづくりの方向性として示します。

このまちづくりの方向性は、市民会議において、まちの将来像の検討過程で、イメージとして出されたキャッチフレーズをもとに設定しています。



まちの将来像のイメージ図

基本計画

「住めば誰もが輝くまち」を実現するための7つの政策

基本計画は、まちの将来像の実現に向けて、4つのまちづくりの方向性に沿って取り組む内容を、7つの政策と31の基本施策として示すものです。基本施策ごとに、めざす姿や施策の展開方向などを設定しています。

政策1 力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり

基本 施策

市民参画・協働

地域コミュニティ

男女共同参画

人権・平和

多文化共生

めざす姿

- 市民が主体に活躍できるまち
- 地域がつながり地域で課題解決できるまち
- 誰もが能力と個性を發揮できるまち
- 思いやりを持ち人権が尊重されるまち
- 多様な価値観を共感できるまち

施策の展開方向

- 市政への市民参画の推進
- 地域コミュニティのネットワーク化の促進
- 男女共同参画社会の実現に向けた環境整備
- 人権教育・啓発の推進
- 国際化に対応する人づくり ... など



市民活動支援センター

政策2 学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり

基本 施策

就学前・学校教育

青少年育成

生涯学習

文化・芸術・スポーツ

めざす姿

- つながりある学びと育ちを大切にすまち
- 青少年が夢を持って社会参画できるまち
- すべての世代が学びあい育ちあえるまち
- 暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまち

施策の展開方向

- 学習環境の整備・充実
- 健全育成の環境づくり
- 学習活動の支援及び学習環境の充実
- 歴史的・文化的資源の保存と活用 ... など



桃山学院大学との連携講座

政策3 誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本 施策

子ども・子育て支援

地域福祉

高齢者福祉

障がい福祉

保健・医療

めざす姿

- 笑顔で育ち育てられるまち
- ぬくもりの手と手をつなぐまち
- すこやか安心長寿のまち
- 共に支えあい共に生きるまち
- 健康で心豊かに暮らせるまち

施策の展開方向

- 子どもを安心して産み育てられる環境づくり
- 地域福祉の意識の醸成と人材の育成
- 介護予防の推進
- 障がい者の日常生活及び社会生活に対する総合的な支援
- 健康づくりの推進 ... など



乳幼児健診場面での保護者への
保健指導の様子

政策4 安全で心やすらぐまちづくり

基本 施策

防災・消防

防犯

消費生活

めざす姿

- 市民とともに作る災害に強い安全なまち
- 犯罪を未然に防ぎ安心して暮らせるまち
- 消費者が安心して生活できるまち

施策の展開方向

- セーフコミュニティ活動の推進
- 防犯のための環境整備
- 自立した消費者の育成 ... など



セーフコミュニティ分野別対策委員会

政策5 コンパクトで居心地のよいまちづくり

基本 施策

住環境

臨海部

環境保全

道路・交通

公園・緑地・河川

上下水道

めざす姿

- 住みやすさと優しさを次世代へと引継ぐまち
- 人・もの・情報が集まる、美しい港があるまち
- 身近な環境を守り未来につながるまち
- 安全安心で快適に移動できるまち
- 人の集う公園・緑・水辺のあるまち
- 安定したライフラインの整ったまち

施策の展開方向

- 便利な暮らしを支えるまちづくりの推進
- 新たな企業の誘致
- 公害防止対策の推進
- 安全な道路空間の整備
- 地域の活動や外遊びの拠点となる公園づくり
- 水道水の安定供給 ... など



高齢者交通安全教室

政策6 誇れる・選ばれる・集えるまちづくり

基本 施策

商工業

観光

農業・漁業

労働環境

めざす姿

- 人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち
- 地域資源を守りながら新しい風を感じさせるまち
- 食を身近に感じる産業を育むまち
- 誰もが夢を持ち働きやすいまち

施策の展開方向

- 地域産業の振興
- 地域資源を活用した観光の推進
- 次世代経営者への経営環境の提供
- 安心して働ける職場環境の整備 ... など



浜街道まつり

政策7 健全な行財政と都市経営に基づく市民サービス

基本 施策

行財政運営

市政の情報発信

公共施設

市民サービス

めざす姿

- 柔軟で健全な行財政運営
- すべての市民に情報が届けられるまち
- 誰もが利用しやすく誰もが集える公共施設
- 満足を実感できる市民サービスの実現

施策の展開方向

- 健全で効率的・効果的な財政運営
- 広報活動の充実
- 施設の複合化・多機能化の推進
- 市民対応と窓口でのサービスの向上 ... など



行政の事業のあり方を再検証する外部評価

「まちの将来像」、「まちづくりの方向性」を検討・提案いただいた市民会議等の概要です。

第1回

大学生会議

H25.11.30

市民会議

まち歩き(泉大津駅周辺)

良いところ・変えたいところの確認

ワークショップ

まちづくりの資源や課題を抽出「利便性が高く歴史もあるが、商業等の活気が不足」、「毛織物が有名だと改めてわかったが、若い人にはイメージしにくい」、「狭い道路が多い」等、数多くの意見が出されました。

まち歩き(松ノ浜駅～北助松駅)

良いところ・変えたいところの確認

ワークショップ

まちづくりの資源や課題を抽出「緑豊かで静か、住むには良いまち」、「公民館で色々なセミナーが実施されており、クラブが楽しそう」、「公共施設が老朽化している」等、数多くの意見が出されました。



まちづくりの資源・課題を抽出

第2回

大学生会議

H26.1.11

2チームに分かれてワークショップ

各会議で出されたまちづくりの資源や課題を参考に、「泉大津市の強み・弱み」や「強みを活かした・弱みを克服する取組のアイデア」を検討し、取組の方向性を整理しました。



若い力がひびく

まちに学生がいる、子どものパワーを借りる取組

人と人とのつながりが強いまち

仲間意識は強いが、新旧住民のコミュニケーションが無い

まちを知ってもらおう

隠れた名店、人気のあるおづみんを活かしきれていない

おづみんを宣伝部長に!

人気はあるが、何をPRするのか!

暮らしやすいまち

良いもの(平坦・コミュニティバス・公園等)が活かしきれていない

Kindful city for foreigners

閑空に近い

学んで味わうまち歩きツアー

古い町並みなどまちの魅力が知られていない

交流あふれる商店街

魅力的な飲食店が知られていない

人

情報発信

暮らし

賑わい

第3回

大学生会議

H26.2.8

市民会議

2チームに分かれてワークショップ

第2回市民会議で議論された「私が想う10年後の泉大津」の結果を踏まえ、重要だと考えられるキーワード等の絞り込みを行い、それらの組み合わせにより、一言で表す「私たちが想う10年後の泉大津の将来像」を整理しました。



将来像を投票で決定

第3回大学生会議の提案を踏まえて、投票により市民会議のみんなが想う将来像案を検討・決定しました。



4班に分かれてワークショップ

第2回市民会議を踏まえて、「私たちが想う10年後の泉大津」を実現するために必要な取組に対して「わたしにできること」、「連携してできること」を検討しました。



H25.1.2.14

中学生会議

H25.1.2.20



まちの自慢できるところ・変えたいところについて意見交換

「泉大津をもっと知ってほしい!」、「おづみんと毛布を掛け合わせてイベントをしては?」、「緑を増やして明るく毎日が楽しい町に」、「商店街に活気がある町に」、「清潔で事故がまったくなくて地域のみんなで助け合える町に」等の意見が出されました。



大学生会議で抽出されたテーマ別に市民会議を班分け

市民会議

H26.1.2.5

4班に分かれてワークショップ

各自が考えてきた「私が想う10年後の泉大津(キャッチフレーズや将来都市イメージ)」を班別に共有し、その将来像を実現するために必要な取組について検討しました。

各班が考えた10年後の泉大津のまちのイメージ

人・コミュニティ きょうどうによるコミュニティづくり

情報発信 育ち育てられるまち
誰もがひきこまれる開かれたまち
今あるもので発展していくまち

暮らし 世代をこえて手を取り合うまち
～ゆりかごから墓場まで～

賑わい・産業 なんでも近い(で)泉大津



H26.3.1

第4回

大学生会議 H26.3.15

資料作成

これまでに開催した市民会議、大学生会議を振り返り、市民フォーラムで発表する内容について、発表の構成、役割分担を検討し、発表資料を作成しました。

発表

市民フォーラム

H26.3.29

各会議の代表者が
検討内容を発表

3つの将来像
を提案



住めば誰もが輝く町
～自分たちで育て、自分たちも育てられる町～

なんでも近い(で)泉大津

市民と共に創り育てる
"ええとこやで・泉大津・"



第4次総合計画の ロゴマークができました!

まちの将来像と総合計画を広くみなさんに知ってもらうことを目的に、ロゴマークを作成しました。市では様々な場面でロゴマークを活用し、総合計画の周知に取り組み、市民や団体・事業者などのみなさんと共に、より良いまちづくりを進めていきたいと考えています。

コンセプト

総合計画で位置付けるまちの将来像「住めば誰もが輝くまち泉大津～なんでも近いでええとこやで～」を踏まえ、**誰もが“キラリ”と輝く泉大津**を、市民と共にめざすという想いを込めたものです。

— 第4次泉大津市総合計画 —

泉大津市総合政策部企画調整課

策定：平成27年（2015年）3月

発行：平成27年（2015年）9月

〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号
TEL 0725(33)1131 FAX 0725(21)0412
URL <http://www.city.izumiotsu.lg.jp/>

